

しまね いま いま ねっと

公益財団法人
ふるさと島根定住財団

(しまね県民活動支援センター)
https://www.teiju.or.jp

Vol.183

NPO法人の「しまっち！」活用が増えています！



ふるさと島根定住財団 地域活動支援課が運営・管理を行っている、しまね関係人口マッチング・交流サイト「しまっち！」には、これまでに500件(2026年1月)のプログラムが掲載されました。NPO法人の方々も活用され、団体活動への共感集めにつながったり、仲間づくりをしたり、活動を育てていくきっかけになっています。今回はNPO法人の活用方法についてご紹介します！

「しまっち！」ではプログラム・コミュニティ・活動レポートの掲載が可能！

◇プログラム掲載を行ったNPO法人をご紹介します！ご紹介したNPO法人は何度もプログラムを掲載しています。またプログラム終了後は「活動レポート」を掲載するので、当日の様子もうかがえます。

【NPO法人松江サードプレイス研究会(ノヴィープロジェクト)】

プログラム
イーとホリー あらたな旅立ちの春
9回 **ノヴィー音楽祭**
4月20日(土) 20時15分 - 29日(土) 19時00分
運営サポーター募集!

◎ 松江市
しまサポ (交通費助成対象)
【運営サポーター募集中!】第9回ノヴィー音楽祭「ノヴィーとホリー、あらたな旅立ちの春」
ノヴィー、ピアノ、ホリー、地域活動、松江市、音楽、音楽祭

当日の運営スタッフとして、一緒にサポートしてくれる方を募集。会場設営や受付、片付けなどの合間に交流やコンサートを楽しむことができました。



活動レポート



【NPO法人しんじ湖スポーツクラブ】

プログラム
10月4日(土)開催「キャンドルナイト in しんじ湖2025」サポーター募集!

◎ 松江市
しまサポ (交通費助成対象)
10月4日(土)開催「キャンドルナイト in しんじ湖2025」サポーター募集!
イベント、キャンドルナイト、しんじ湖、スポーツクラブ、地域づくり、地域貢献、子ども、防災、松江市

運営サポートを募集。キャンドルアートの設置や防災コーナーの設営などを行う予定でしたが、令和7年度は雨天中止となりました。写真は昨年度の様子です。



昨年の活動レポート



【NPO法人かえる倶楽部】

プログラム
11/29(土)かえる倶楽部監修
手堀りの井戸掘りサポーター募

◎ 松江市
しまサポ (交通費助成対象)
【11/29開催】かえる倶楽部手堀りの井戸掘りの運営サポーター募集!
EM、ワークショップ、井戸掘り、出雲市、無農薬野菜、環境問題、耕作放棄地、野菜作り

かえる倶楽部の活動に関わりたい方、手堀りの井戸掘りに関心のあるサポーターさんが揃い、井戸を掘りました。県外からのサポーターさんも来ていただきました。



前回の活動レポート



【NPO法人美身伝心】

プログラム
【1/31開催】がん患者さんの「タオル帽子づくり」のサポーター募集!

◎ 出雲市
しまサポ (交通費助成対象)
【1/31開催】がん患者さんのための「タオル帽子づくり」のサポーター募集
タオル帽子、フリースクール、出雲市、子どもの居場所、子ども食堂、子育てがん患者

タオル帽子を作成し寄贈をする活動を行っています。作り手は減っていますが、タオル帽子の寄贈先は増加。タオル帽子を作成するメンバーを募集し、一緒に縫いました。



前回の活動レポート



◇コミュニティに掲載することで、活動している地域以外(県外も含め)の方々に活動を知っていただく機会になり、仲間集め、資金集めなど、情報発信の1つに繋がっています。

【NPO法人むぎくさ】

コミュニティ
2025/1/31-2030/3/31
◎ 松江市
誰もがいきいきと活躍できる場に!
カフェ、交流、子育て支援、農産物づくり、松江、福祉

◎ 松江市
誰もがいきいきと活躍できる場に!
カフェ、交流、子育て支援、農産物づくり、松江、福祉

カフェごだまの運営を通し、誰もがいきいきと活躍できる場所を目指します。



【NPO法人しまね子ども支援プロジェクト】

コミュニティ
2024/6/27-2030/3/31
◎ 出雲市
【支援募集中】子どもが貧困のスパイラルを抜け出すために「しまね子ども支援プロジェクト」
コミュニティ、ファミリー、ひとり親、フードバンク、出雲市、子ども

子どもが貧困のスパイラルを抜け出すために、コミュニティフリッジ出雲の運営を行っています。



しまね関係人口マッチング・交流サイト「しまっち！」とは地域の皆さんが取り組む地域活動をプログラムとして掲載し、関わりたい方を募集することができるサイトです。



※今回、ご紹介したNPO法人以外にも活用いただいています。

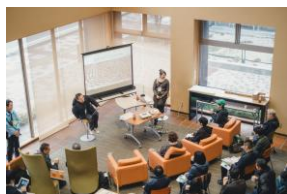
地域づくりオールスター祭2025を開催しました！

2026年1月25日、江津市のパレットごうつにて「地域づくりオールスター祭」を開催しました。全体会では「持続可能な地域を“楽しく”つくる」をテーマに、地域課題を武器に変えながら「困りごとを解決し、ありがとうを創造する経営」に取り組んで来た(有)齋藤アルケン工業 代表取締役 齋藤憲嗣氏にご登壇いただきました。「**変わり続ける姿勢こそ大事**」と語る齋藤氏の考え方や経験談は、多様な主体との合意形成が必須となる地域づくりの現場にも通じるどころがあり、モチベーション(楽しさ)と活動資金を継続させる仕組みづくりについて学ぶことができました。



全体会の様子

午後からは6つの分科会に分かれての事例発表を行いました。分科会6では「私が島根に来た理由」をテーマに、島根県立大学准教授 田中輝美さん司会のもと、奥出雲町でゲストハウスを営む元地域おこし協力隊の石亀五郎さん、浜田市の地域おこし協力隊として美又共存同栄ハウスを運営する上代美帆さんをゲストに迎えトークセッションを行いました。移住者や関係人口を地域で受け入れていくために必要なのは「**相手の視点や考えを知る**」こと、そして自分たちでは気づきにくい「**地域の魅力を再確認**」すること。トークの中では、地域に来た時に感じたリアルな思いや移住の決め手になったエピソードなどを語っていただき、参加者も深く頷きながら話に聞き入っていました。地域で受け入れるための準備として、若い移住者の話を共有できたのは受け入れ側の意識のアップデートにつながりました。



分科会の様子

中国ろうきんNPO寄付システム NPO法人38団体の採択が決定

ご寄付をいただいた皆様、誠にありがとうございました。
審査会を経て、2025年度は38団体への配分が決定しました。
今後も、温かいご支援をよろしくお願いします。

配分団体はこちら
チェック！▼



2025年度配分団体は
「フレフレしまね」にて掲載中！



中国ろうきんNPO寄付システム

中国労働金庫の100円から行える口座振替の寄付(手数料不要)。
各県で集まった寄付金は、県内で活動するNPO法人に配分される、
「助け合い」のろうきんならではの地域循環型寄付システム。島根県
では定住財団が事務局を担っています。

分野	募集数	申請数	配分数	特別枠
保健・医療・福祉	6	10	6	1
社会教育	1	1	1	0
まちづくり	3	4	3	1
観光の振興	1	0	0	0
農村漁村・中山間	1	1	1	0
文化・スポーツ	4	5	4	0
環境保全	2	2	2	0
災害救援	1	1	1	0
地域安全活動	1	1	1	0
人権・平和	1	0	0	0
国際協力	3	2	2	0
男女共同	1	1	1	0
子どもの健全育成	10	14	10	1
経済活動	1	0	0	0
職業能力・雇用機会	1	1	1	0
消費者保護	1	1	1	0
NPO支援	2	1	1	0
合計	40	45	35	3

令和8年度「助成金申請書 書き方セミナー・助成制度合同説明会」(春期)を開催します。

助成金の審査委員を務めた経験がある講師を招き、審査員が申請書の
どんなところをチェックしているのか、どんなことを重視し、審査し
ているのか、など申請書作成のコツを学びます。また、セミナー後
には島根県内の助成団体による、助成制度合同説明会を開催します。県
内にどんな助成制度があるのかを知り、今後の団体活動に結びましょ
う。

- 松江会場 日時 令和8年4月15日(水) 13:15~16:35
会場 松江合同庁舎 2F 講堂 (松江市東津田町1741-1)
- 浜田会場 日時 令和8年4月22日(水) 13:15~16:35
会場 浜田合同庁舎 5F 中会議室 (浜田市片庭町254)

参加申込み
はこちら▼



リアルな話を聞けてさ
らに理解が深まった

審査する立場から見た
書き方のコツを知れた

昨年度の参加者の声



ワンポイント的
なアドバイスが
あってよかった

島根いきいき広場 - 助成金情報 -

詳しい情報・問い合わせ先などはサイトからご確認ください。

<https://www.shimane-ikiiki.jp>

島根いきいき広場 助成金

①助成金名 ②助成額(助成内容) ③締切

 <p>①日本ウェルビーイング財団 システミックチェンジ志向 ウェルビーイング共創助成 ②総額1,000万円、件数2~3団体 ③3/31(火)18:00</p>	 <p>①あすたむ舎 障がい者支援事業2025年度第3回募集 ②1団体あたり30万円以内 総額600万円以内 ③3/31(火)</p>
 <p>①朝日新聞厚生文化事業団 地域こどもつなぐ応援金 ②前期分(4~9月分)=5万円 後期分(10~3月分)=5万円 卒業時の「卒業祝金」=2万円 ③3/31(火)</p>	 <p>①はるやま財団 障害者支援団体等の活動に対する支援事業 ②1件あたり50万円以内 ③3/31(火)</p>
 <p>①タカラ・ハーモニストファンド助成事業 ②総額500万円、件数10件程度 ③3/31(火)必着</p>	 <p>①善い心を未来へつなぐ財団 令和7年度 障がい者支援施設助成金 ②1施設あたり上限50万円 ③3/31(火)当日必着</p>
 <p>①ポーラ伝統文化振興財団 2026年度助成事業 ②1件あたり30万円~200万円程度 ③3/31(火)当日消印有効</p>	 <p>①第一生命保険 第78回保健文化賞 ②厚生労働大臣賞(表彰状)/第一生命賞(感謝状、賞金:団体200万円、個人100万円)/朝日新聞厚生文化事業団賞(記念品)/NHK厚生文化事業団賞(記念品) ③4/15(水)</p>
 <p>①HTM基金 障がいや病気を抱える人々とその家族に対する助成 ②1件あたり30万円以内 ③4/17(金)17:00</p>	 <p>①サウンドハウスこどものみらい財団 助成事業 ②月額5万円~20万円を半年単位で前払い支給(30万円~120万円) ③年間を通して受付</p>

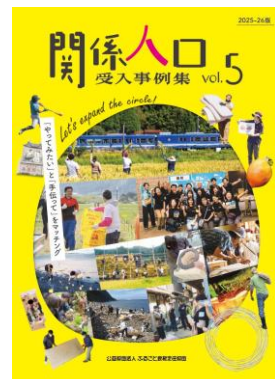
Information

『関係人口受入事例集 vol.5』を発行しました！

令和3年度から毎年発行している『関係人口受入事例集』。令和7年度版の“vol.5”がこの度完成しました。この冊子には、しまっち!の機能や活用方法のご紹介や、島根県内で関係人口を受け入れて活動している地域団体の事例の一部を掲載しています。

「関係人口について知りたい」「活動に関係人口を受入れたい」「いつもの取組みに新しい仲間がほしい」 etc…

そんな思いをもった皆さまのお役に立てるような情報をお届けすることを目指して制作しています。たくさんの方にご覧いただけると幸いです。



『関係人口受入事例集 vol.5』

「しまっち!」ページ上で、Vol.1~5のPDFデータもご覧いただけます！



新たに「しまっち!」noteページにも記事を掲載！こちらもぜひご覧ください。





つながる寄附、広がる活動

—しまね社会貢献基金はあなたの活動を応援します！—

島根県では、皆様からの寄附金で積み立てた「しまね社会貢献基金」を活用し、NPO法人やボランティア団体等の社会貢献活動を支援しています。こちらでは、基金を活用された団体の活動をご紹介します。

団体紹介・理念(ミッション)

特定非営利活動法人スペースは、様々な背景を持つ子どもたちに、安心できる居場所と学びの機会を提供しています。子どもたちの“well-being (身体的・精神的・社会的に良好な状態)”を支えるため、多様な体験活動や他者との交流を通じて、子どもたちが孤立することなく健やかに成長し、自らの可能性を広げられる社会の実現を目指しています。



特定非営利活動法人 スペース

[住所] 島根県松江市法吉町579-7

[電話] 0852-78-2294

[HP] <https://www.space-shimane.jp/>



事業の内容・実績

平日のフリースクールでは、学習支援に加え、農業体験やプログラミング、ダンスなど多彩な活動を行っています。学校の長期休業中は「居場所づくり事業」として、一人で過ごす子どもを受け入れ、異なる校区の子どもたちが新たに交流する場を提供しています。過去には、フリースクールに通う子どもが、交流の中で自信を取り戻し、学校に復帰できたこともあります。また、卒業生が部活動の帰りに遊びに来て、後輩たちのお世話をしている姿を見ると、スペースが本当の「居場所」となれた証と感じ、嬉しくなります。

インタビュー

スペース
理事長 柳澤さん



就学援助世帯学習支援事業「応援塾」

しまね社会貢献基金を活用し、就学援助世帯を対象とした無料学習支援も行っています。私たちには学習支援のノウハウはあったものの、支援を必要とする家庭に確実に情報を届けることが課題でした。その頃「NPO法人フードバンクしまねあったか元気便」では、利用者アンケートから教育費の負担や子どもの学習への不安を抱える世帯が多いことを把握しており、そこに島根大学も加わり、お互いの強みを活かした連携が実現しました。



この事業は三者の協働で成り立っています。スペースが学習プログラムを企画し、フードバンクしまねが対象家庭への案内や食事の提供、送迎サポートを担当。島根大学は教室やカフェテリアを会場として提供し、多様な学部の学生ボランティアがマンツーマンで子どもたちを支えます。

大学という特別な環境で、お兄さんお姉さんのような学生に教わることで、子どもたちの学習意欲も高まり、「分かりやすい」「相談しやすい」という感想が寄せられています。勉強だけでなく昼食も共にすることで会話も弾み、より安心して学習に取り組める関係が築かれています。

学生からは、「教えているはずが、教わることの方が多い」という声もあり、子どもたちへの声掛けが、教育や福祉の道を志す彼らにとって、実践的で多角的な学びの機会となっているようです。

これからも改善を重ね、地域との連携も深めながら、子どもたちにとって安心して成長できる「居場所」と学びの場を提供していきます。



取材を通して感じたこと

フードバンクや子ども食堂と連携した学習支援の中でも、「応援塾」のように受験対策まで包括的に行う取り組みは全国的にまだ珍しいとのこと。子どもだけでなく、学生ボランティアもふりかえり会で他学部の学生の感想から教育・福祉に関する多様な視点を学ぶという話も印象的でした。今後の活動の発展にも期待しています。

県内NPO情報

R7年12月末 現在

県内NPO法人数	全体	268
	内認定	6
	内特例認定	1
しまね社会貢献基金登録団体数		83
だんだん認証レベル取得団体数	全体	41
	内レベル2	30

発行元 (公財)ふるさと島根定住財団

(しまね県民活動支援センター)

[松江事務局]

〒690-0003 松江市朝日町478-18 松江テルサ3階

TEL (0852)28-0690 FAX (0852)28-0692

E-mail: chiiki@teiju.or.jp

[石見事務所]

〒697-0034 浜田市相生町1391-8 シティパルク浜田2階

石見産業支援センター「いわみぶらっと」内

TEL (0855)25-1600 FAX (0855)25-1630

E-mail: iwami@teiju.or.jp



島根いきいき広場

県民活動応援サイト

<https://www.shimane-ikiiki.jp/>



Facebookも日々更新中!
しまね県民活動支援センター
で検索してみてください♪